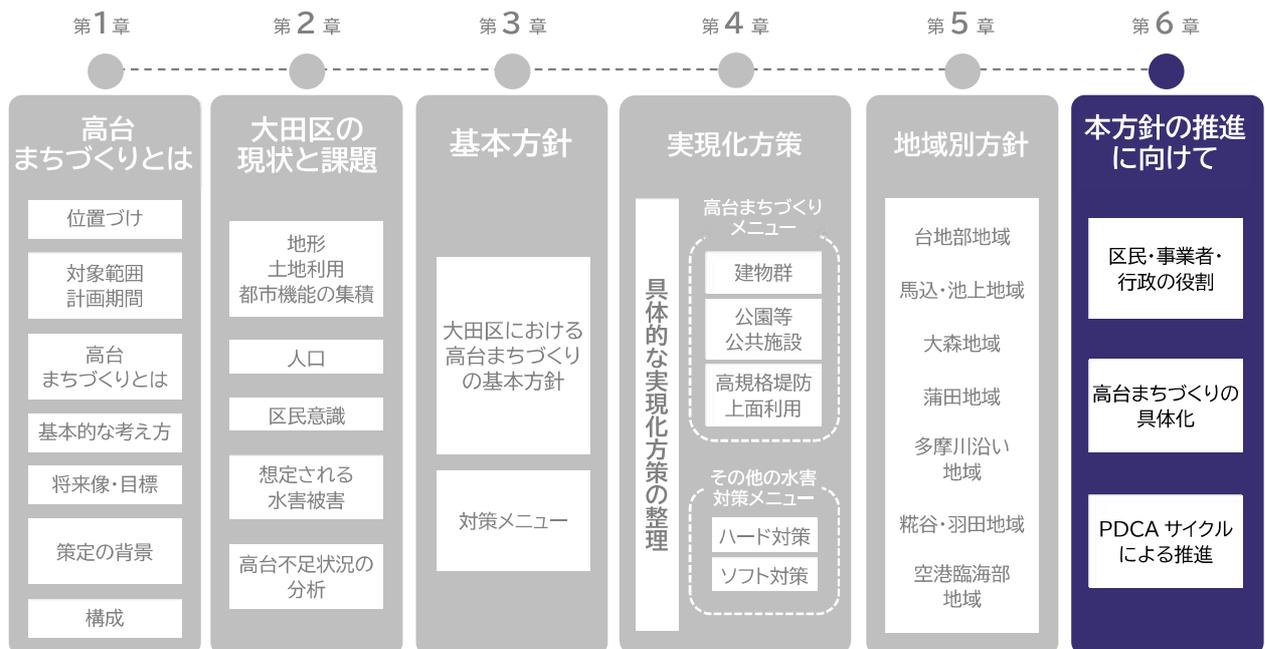


第 6 章

本方針の推進に向けて

- (1) 区民・事業者・行政の役割
- (2) 高台まちづくりの具体化
- (3) PDCA サイクルによる高台まちづくりの推進



第6章では、第5章までの内容を踏まえて、高台まちづくりの推進に向けた方策を示します。

(1) 区民・事業者・行政の役割

効果的に高台まちづくりを推進し、水害に対して強靱で回復しやすい市街地を形成するために、区民・事業者・行政がそれぞれの役割を認識するとともに、互いに協力しながら取組を進めていく必要があります。

区民・事業者・行政は、それぞれ次のような役割を担います。

区民の役割

- ◆ 自宅や勤務先周辺の水害リスクや避難先を知る
- ◆ マイ・タイムラインをつくる

事業者の役割

- ◆ 避難受入スペースや備蓄倉庫等を設ける
- ◆ 非浸水階への電気室整備や、重要施設の耐水化を推進する
- ◆ BCPを策定する

水害に対して強靱で
回復しやすい市街地の
形成

行政の役割

- ◆ 水害リスクの高いエリアから優先的に高台まちづくりを推進する
- ◆ 高台まちづくり推進のために必要な、区内関係部局や、国、都などとの連携を図る
- ◆ 区民や事業者に対する水害対策や高台まちづくりに関する啓発を図るとともに必要な支援を行う

(2) 高台まちづくりの具体化

第5章で整理した地域別方針を踏まえ、特に高台の必要が高い多摩川沿い地域（六郷地区・矢口地区）や糀谷・羽田地域（羽田空港は除く）等から、具体的な取組についての検討を推進します。

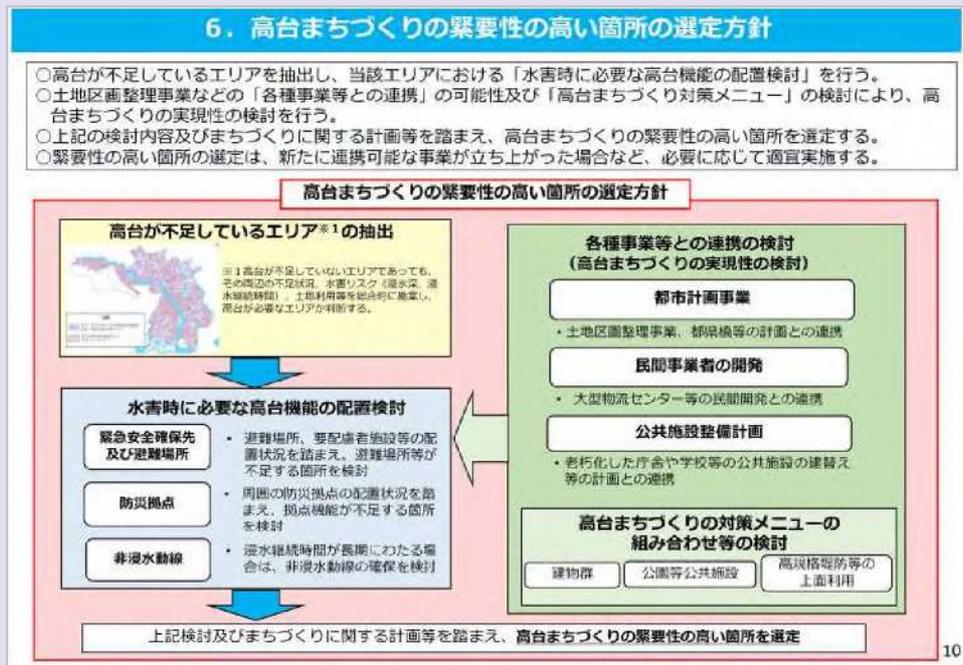
高台が不足する地域の中でも特に高台整備の緊要性の高い場所の選定にあたっては、水害時に必要な高台機能の配置の検討や、各種事業等との連携の検討などを踏まえて行っていきます。

また、高台まちづくりの具体化に向けた検討にあたっては、国や都、区内の関係課と連携し、高規格堤防の整備をはじめとした、必要な整備や制度改正等を要望していきます。

参考

第4回高台まちづくり推進方策検討ワーキンググループ資料

高台WGでも、高台まちづくりの緊要性の高い箇所の選定方針についての検討が行われています。



(3) PDCA サイクルによる高台まちづくりの推進

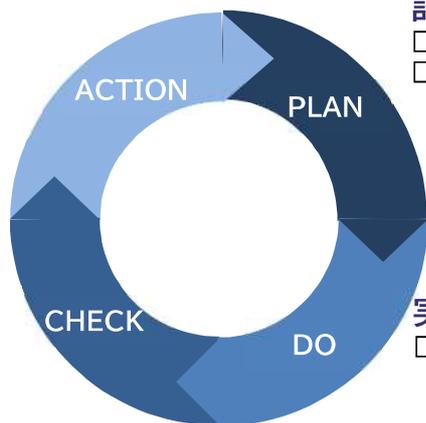
効果的な高台まちづくりを推進するために、PDCAサイクルによって本方針に基づく高台まちづくりの取組の進捗状況等を随時検証・評価します。検証・評価の結果や、社会情勢の変化等も踏まえ、方針の見直しが必要であると考えられる際には、柔軟に見直しを行います。

改善

- 高台まちづくり基本方針の見直し検討

計画

- 高台まちづくり基本方針の策定
- 高台まちづくり基本方針の改定



評価

- 高台不足状況改善の評価

実施

- 高台まちづくり基本方針に基づく事業実施

1

2

3

4

5

6

参考